

講義名	公務員特別演習				授業形態	
担当教員	河辺 有希生 / 森脇 丈子		開講期・曜日・時限	前期 金曜日 2時限		
			単位数 2	履修開始年次 2年生	ナンバリング・コード	PSC240

主題と概要

【目的】公務員特別演習は、公務員を目指す経済学部生を対象とする、１年後（演習）から４年前期（演習）まで一貫したプログラムである。「究極のサービスマン」とも呼ばれる公務員は、様々な分野で、多くの人々の暮らしを支えるやうなやりがいと大きな職業である。しかしながら、公務員試験は競争が激しく、この演習を受講したからといって容易に合格できるものではない。また知識をただ暗記し、他者からの指示がなければ行動できない人材も求められてはならない。そこで本演習には、自ら考え、仲間とともに正解のない問題に挑戦できる総合的な人間力が求められていく。（まさに本学が掲げる「ネパールのひびくへこれら」の精神をもった人材）。また本演習は、高い自己意識を維持しながら試験対策を効果的に継続できるように、様々なシニア段階の与ることに、公務員を目指す皆さんをサポートしていくものである。

2年生前期の公務員特別演習 では、次の目的意識のもとで授業を行う。

- (1) 自治体の組織や公務員の職務に関する基礎的・具体的な知識の修得
- (2) 目指す進路(希望職種)を定めるための情報や知識の修得、理解の深化
- (3) 公務員試験に対応できる知識やスキルの向上

到達目標

1. 現在の社会課題・地域課題について理解し、自分の言葉で他者に伝えることができる。
2. 公務員として働くことでの社会的責任や使命について自分の言葉で説明できる。
3. 自分自身が目指す職種を具体的にイメージし、それを達成するための課題を明確に意識できるようになる。
4. 同じ目標をもつ仲間との議論を通して、課題解決にむけて主体的に関わる力を身につけることができる。

提出課題

地域・社会課題の学びについて、理解を深めることを目的とした課題を課す。
また、公務員を目指す抱負や希望職種などに関するプレゼンテーション（授業時間内での発表）を求める。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題については、次の演習の際に適宜講評する。
対話やディスカッション、発表については適宜フィードバックを行う。

評価の基準

各時間の振り返りシート：20%、レポート課題：40%、テーマ発表：20%、議論への参加（発言）：20%
合計100点満点で評価する。

自分の考えを積極的に言語化し、話し言葉、書き言葉で他者に伝えることが評価で求められる。

履修にあたっての注意・助言他

この演習は、真剣に公務員を目指す学生を対象とするものであり、理由なく欠席・欠席しないこと、公務員試験は競争が激しく、公務員の学習のみに合格できるほどは甘いこと、欠席はあくまでも公務員志望者のサポーターである。受講生諸君が独自に試験対策を練り、自習を重ねる必要があることは必ずしも言及しない。

② 市内の公務員試験対策講座（有料講座）等の受講、もしくは外部専門学校等の受講（ダブルスクール）を強く推奨する。

③ 基礎講座⑧以外への関連する正確授業も、順次、履修することが望ましい。

（共通）漢字入力、経済学入門、政治学、財政学、行政学、地方行政学、防まちづくり概論、防災まちづくり概論、境界研究（官公庁）、行政概論、政治学、経済学、財政学、行政学、地方行政学、財政概論、経済学、ミクロ経済、マクロ経済、公安概論⑨基礎講座⑧（数的処理）

公務員特別演習(Ⅰ～Ⅴ)は、1年後期(演習Ⅰ)から4年前期(演習Ⅴ)まで一貫したプログラムであるが、「公務員特別演習」(本演習・2年前期開講)から編入することも可能である。編入希望者は、1年後期に実施するガイダンスに必ず参加すること。

教科書

公務員試験の教科書 論文・作文本 令和7年度受験(公務員試験 教養試験対策) キャリアード合同会社 1980 4911062053

参考図書

その他

教科書に加え、適宜、プリントを配付する。
外部講師による授業の際にも、別途教材やプリントが配付されることがある。

授業計画

- 1 **ガイダンス・社会・地域の導入**
＜学習120分＞ 各教科特別指導 ① 学んだ内容を復習する
- 2 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験の動向について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する
- 3 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する
- 4 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験の動向について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する
- 5 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験の動向について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する
- 6 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験の動向について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する
- 7 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験の動向について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する
- 8 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験の動向について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する
- 9 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験の動向について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する
- 10 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験の動向について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する
- 11 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験の動向について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する
- 12 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験の動向について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する
- 13 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験の動向について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する
- 14 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験の動向について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する
- 15 **公民権試験の動向について**（ワーク・カテゴリー）
＜学習120分＞ 公民権試験の動向について、1つ及び 2つの取組み方法について復習する

上記のスケジュール、内容は変更の可能性があります。
授業の基本は、教養試験対策を2割、社会・地域課題についての学習が7割程度になる

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
○ ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
○ オ:プレゼンテーション	○ カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(ＡＬ型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本演習は以下のディプロマ・ポリシーと関連する。

【流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力】

- (1) 「ネガティブのひねり」へこたえぬ、の精神をもった人材
- (2) 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材
- (3) 創造力、新しい視点と豊かな発想 を持った人材
- (4) 自主・自立の精神を持った人材
- (5) 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材
- (6) 「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」となるための基礎能力

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

地域・社会課題について理解したこと、自身の考えを互いに発表し、深めていく授業である。また現役公務員の方との直接的な対話や質疑応答、ディスカッションを実施する。

実務経験の有無及び活用

備考

--